

Close Up

クローズアップ 四輪販売会社

「あやとりいひよこ 映像版」を活用し、Honda Cars 長岡東が交通安全教室を開催

Honda は交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ 映像版（以下、映像版）」を全国各地の Honda Cars（四輪販売会社）に普及している。映像版は「あやとりいひよこ」（下記参照）を映像化し、Honda Cars のスタッフが商談用に表示できるようなしものである。Honda Cars 長岡東（本社：新潟県見附市）は映像版を活用し、7月1日に見附天使幼稚園で交通安全教室を行った。

映像版は指導を担当するスタッフの負担が少ない

Honda Cars 長岡東は、3年ほど前から近隣の幼稚園・保育園での交通安全教室の企画を始めた。その背景を同社専務取締役久住繁男さんは次のように話す。「当社はSDGsを推進する活動の一環として、地域の交通安全への取り組みを強化することにしました。まず、本社のある見附市内の幼稚園・保育園に出向いて『あやとりいひよこ』を活用した交通安全教室ができる体制をつくったのです。しかし、その矢先にコロナ禍となってしまったため、実際に開催できたのは昨年のごとくでした。

この時、既に映像版が完成していたため、早速使ってみたという。「映像版はタブレット端末とプロジェクターがあれば、どこでもできますし、スクリーンで映像を拡大できますから、受講者が大人数の場合も対応

可能です。また、詳しい解説は映像の中に登場する女性キャラクターがサポートしてくれるので、従来のワークシート型『あやとりいひよこ』に比べ、指導を担当するスタッフの負担が少ないと思いました。

見附天使幼稚園での交通安全教室では、同社の山田咲菜さんと高野奈津子さんが指導を担当。2人は重要なポイントで映像を止め、園児に問いかけながら進めた。例えば、道路を歩く場所では、スクリーンに解答の選択肢を表示。数名の園児を指名して、どれが正しいと思うか答えてもらった。

山田さんは「私は今回が2回目でした。前は指名した子どもにその場で答えてもらったのですが、今回は前に出て来て、指さし棒で示してもらおうようにしました」と、参加している実感がより高まるように工夫したという。交通安全教室が初め



「あやとりいひよこ 映像版」をスクリーンに映し出し、Honda Cars 長岡東のスタッフが園児に問いかけながら進行

ての高野さんは「私の問いかけに、子どもたちがしっかり返事をしてくれて安心しました」と手ごたえを感じていた。「映像版を見るだけで、誰でも交通安全指導ができると思います。次回は、子どもが発言する機会をもっと増やせる構成にアレンジしたいです」と2人は口をそろえる。

止まってくれたドライバーに感謝の気持ちを示す

園児と一緒に参加した見附天使幼稚園 園長 池山奈穂子さんは「子どもたちが映像を見て考え、それを仲間と共有できるようになって良かったと思います。道路を歩く場所の説明では、子どもたちが考えているタイミングで選択肢が表示されるので、自分で正解にたどり着けるように工夫されていました。地域の一員として、四輪販売会社の方々に子どもへの交通安全教育

に取り組んでもらえるのは、たいへんありがたいことです」と感想を語った。交通安全教室の最後、年長クラスの園児は模擬の横断歩道を使って、映像版で学んだ道路の安全な渡り方を実践する。山田さんと高野さんは道路を渡り終えた後、止まってくれたクルマのドライバーに会釈するなど、お礼をしてほしいと伝えた。

「交通安全教室を通じて（信号機のない横断歩道で）クルマが止まってくれたら、ドライバーに感謝の気持ちを示すことを子どもから浸透させていきたいと考えています。こうした子どもの行動をドライバーが目にする事で、『安全運転をしよう』という意識が高まり、交通事故が減っていくと期待しています」と久住さんはいふ。Honda Cars 長岡東は今後、地元の交通安全協会と連携し、幼稚園・保育園での交通安全教室の開催を増やしていく考えだ。



道路のどこを歩けば良いか、園児に指さし棒で示してもら



信号機のない横断歩道では渡る前に止まってから手を上げて右、左、右を確認し、渡った後に止まってくれたクルマのドライバーに感謝の気持ちを示すことを年長クラスの園児が実践



Close Up

クローズアップ 教育プログラム

手上げ横断の指導に対応できるよう「あやとりいひよこ」を改訂

「あやとりいひよこ」は、4～5歳児を対象とした交通安全教育プログラムである。指導者が交通場面のイラストが描かれた大型ワークシートと、キャラクターを使い、道路の安全な歩き方を子どもたちに示してもらうなど、参加しながら楽しく学べる内容となっている。

昨年、「交通の方法に関する教則」（国家公安委員会が歩行者と運転者の交通マナーをまとめた手引き）が改正され、信号機のない場所を横断する時の歩行者の心得に「手を上げるなどして運転者に対して横断する意思を明確に伝えるようにしましょう」という内容が盛り込まれた。これに対応するため、Honda は「あやとりいひよこ」を改訂（映像版含む）。信号機のない横断歩道が表現できる貼り付け型のワークシートや、手を上げているキャラクター

などを追加した。これによって、道路を横断する時は止まってから右、左、右をよく見て渡るという従来の内容に加え、手を上げて運転者に渡りたいという意思表示を子どもたちに学んでもらえるようになった。今後、他の教材も手上げの指導ができるように順次改訂を進めている。

活用を希望される自治体、警察、団体の方は下記にお問い合わせください。
本田技研工業（株）安全運転普及本部
TEL 03-5412-1150



手を上げている女の子、男の子のキャラクターを追加



信号機のない横断歩道が描かれたワークシートを使って、手上げは運転者に横断の意思を伝える意味があることや、クルマが止まったのを確かめてから渡ることを説明できるようになった